

中国 5 県休眠預金等活用コンソーシアム

第 34 回 運営委員会 議事録

(1) 日時

2024 年 8 月 20 日 (水) 17 時～19 時

(2) 会場

オンライン

(3) 参加者

① 運営委員

とっとり県民活動活性化センター	毛利葉
ふるさと島根定住財団	小笠原勝司
岡山 NPO センター	加藤彰子
ひろしま NPO センター	松原裕樹 (代理 松村渉)
やまぐち県民ネット 2 1	伊藤彰

② オブザーバー等

とっとり県民活動活性化センター	寺坂純子
ふるさと島根定住財団	原早紀子
岡山 NPO センター	高平亮
ひろしま NPO センター	松村渉

(4) 議題

-
- ① 2020 通常枠 事後評価・精算の進捗について
 - ② 2021 通常枠 予算執行状況および資金計画変更について
 - ③ 2022 災害枠 計画変更、発災枠について
 - ④ 秋の合同研修について
 - ⑤ その他

(5) 記録

① 2020 通常枠 事後評価・精算の進捗について

事後評価報告の完了を確認、承認した

精算報告の進捗（報告は完了しているが、システムの都合により進められない状況にある）を確認した

② 2021 通常枠、2022 災害枠 予算執行状況および資金計画変更について

2021 通常枠の予算執行状況を確認した

資金計画の修正について議論し、各県の執行見込みを確認し、予算修正を行うことを承認した

執行見込みについては 2024 年 8 月末までに事務局に提出し、修正予算を 9 月中旬までに事務局より提示することを確認した

2022 災害枠の予算執行状況を確認した

当初計画では、研修、評価などに関する予算を岡山 NPO センターに当てていたが、実務を広島が引き継いだことに合わせ予算の組み換えを検討することとした

予算組み替えの検討は岡山、広島間にて別途実施することとした

③ 2022 災害枠 計画変更、発災枠について

2022 災害枠の事業計画変更について議論を行い、修正する旨を確認した

事務局と JANPIA 間で協議を行い、JANPIA の承認を得た後、改めて運営委員会で確認、承認することとした

修正計画においては規模の大きな災害があった際に、初期対応を円滑に行うための初期対応計画中心に設計することを確認した

計画変更後は、初期対応計画作成について運営委員会を中心に継続した議論を行いブラッシュアップする方針を確認した

山口において JVOAD と災害ネットワーク構築事業に取り組んでいることを共有した

事務局より 2022 発災枠についての提案があり、基本的な方針について承認した

事務局と JANPIA 間で協議を行い、JANPIA の承認を得た後、改めて運営委員会で確認、承認することとした

発災枠計画については支え合いセンターをサポートする事業とすることを確認した

予算感については 1 団体 300～500 万円程度、総額 1,000 万円以内とした

残りの 1,000 万円については今後の発災に向けて留保することとした

スケジュール感としては、2024 年 9 月公募要領作成、10～11 月公募、11～12 月契約、1 月より開始とした

目的は、『能登半島地震被災地において支え合いセンターが実施している災害ケースマネジメントの取り組みを、専門性を活かしサポートし、支援の質を向上させる』こととした

実行団体要件は、支え合いセンターをサポートする業務であることから、

6市町の社協または行政との関係性がある

または、6市町において災害ケースマネジメントに取り組んでいる団体（NPO、地縁組織 等）との関係性がある

支援の質を向上させる専門性がある

とした

中国 5 県との関係性については、発災枠の性質上、被災地支援を目的とすることから、報告会等への参加を通じた実行団体から中国地方の NPO 等へのノウハウ移転とした

中国 5 県との関係性については JANPIA のアドバイスを受けて整理することとした

審査委員会については、2022 通常枠の審査員とした

審査員の就任が困難な際は、改めて運営委員会にて協議することとした

④ 2021 通常 秋の合同研修について

休眠預金を活用することから、コンソが主催となることを承認した

広報文案については事務局が JANPIA 調整し、ブラッシュアップすることとした

対象者は、休眠関係者、加えて中間支援組織や行政など NPO 支援に関わる方々とした

対面を検討しているが、要望があればハイブリットも検討することとした

研修の内容について鳥取より提案があり、承認した

オープニングセッション 5 県の中間支援で共有したいガバナンス・コンプライアンスの問題や人材育成など、未来に向けたトークセッション

セッション① 講師：川北氏 テーマ：支援者に求められる姿勢と技能 等

セッション② 講師：Bankup 中川玄洋氏 テーマ：コミュ財設立、地域の資金循環と人材育成

セッション③ 講師：岡山 NPO センター 高平氏 テーマ：NPO の事業評価

セッション④ 講師：川北氏 テーマ：ガバナンスについて 等

2 日目 講師（ガイド）いんしゅう鹿野まちづくり協議会 テーマ：空き家活用・地域活性化 等

2 日目はバスをチャーターすることとした

川北氏が JANPIA の評議員なので、利益相反関係などを整理することを確認した（8/21 JANPIA より回答があり問題ないことを確認）

岡山が取り組んでいる働く人の会に関する事業の広報等に協力することを確認した

⑤ その他

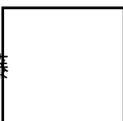
なし

以上で議事のすべてを終了し、19:00 に閉会した。

以上の議決を明確にするために本議事録を作成し、運営委員がこれに押印する。

2024年8月31日

中国5県休眠預金等活用コンソーシアム

運営委員長	松原裕樹	
運営委員	毛利葉	
運営委員	小笠原勝司	
運営委員	加藤彰子	
運営委員	伊藤彰	

署名: 松原裕樹

松原裕樹 (2024年9月6日 05:23 GMT+9)

電子メール: matsubara@npoc.or.jp

署名: 毛利葉

毛利葉 (2024年9月12日 18:07 GMT+9)

電子メール: ymouri.tottori@gmail.com

署名: 小笠原勝司

小笠原勝司 (2024年9月6日 16:40 GMT+9)

電子メール: oga@teiju.or.jp

署名: 加藤彰子

加藤彰子 (2024年9月12日 17:47 GMT+9)

電子メール: npokayama05@gmail.com

署名: 伊藤彰

伊藤彰 (2024年9月13日 12:53 GMT+9)

電子メール: yamaguchiito@yahoo.co.jp